

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画

- ①初期支援のための情報伝達、情報共有をケース記録や申し送りを活用しスタッフが情報収集を行いやすくする。
- ②スタッフ間で声を掛け合い利用者に声掛けや気遣いができるようにする。

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組めましたか？	✓			

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？		✓		
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？		✓		
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いできていますか？	✓			
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？		✓		

できている点

- ・サービス開始前（又は開始直後）に管理者としてご本人、ご家族へ直接面と向かっての挨拶。
- ・サービス開始直後の支援時に、言葉掛けや気遣いなどの配慮（ご家族含む心身の体調確認や労いなど）。
- ・サービス開始1週間前後の支援時の詳細な支援記録（初めての送迎や排泄、入浴、食事、その他泊り含めたサービス提供時の様子など）。

できていない点

- ・（ご家族に対して細目な状況報告は意識できたが）ご家族自身の不安や困りごとを日々の支援から、聴取や傾聴、抽出する意識は高くなかった。

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）

- ・（緊急性のない情報に関して）家族とのやり取りを、ケアマネージャーに任せてしてしまった。

スタッフ個別評価・様式

実施日 令和5年12月26日

2. 「～したい」の実現
(自己実現の尊重)

氏名 福島 知義

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画
①事前に計画を立案し、月に1名以上の個別支援を行う。 ②自ら発信が困難な利用者は、家族と相談しながら本人に合った支援を行う。

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？		✓		

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		✓		
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		✓		
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？			✓	
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？		✓		

できている点
・日々の関わりや、ご本人の希望、要望の記録（情報発信・情報収集共に）。

できていない点
・全ご利用者のケアプランや生活歴シート等の把握。 ・各ご利用者の継続した自己実現に向けた支援。

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）
・一時的にケアプランや生活歴シートを確認しても、日常的には確認できていないため、なかなか自分自身としてもご利用者それぞれで情報量や、その人自体の理解に波がある。

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	①過去の生活や在宅での様子、本人や家族から聞き取った内容記録に残し共有する。 ②利用者の日常生活の中で、できる所と難しい所を見直しし、家族にも伝えることで、スタッフと家族の認識をすり合わせていく。
---------	---

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 前回の課題について取り組めましたか？		✓		

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？			✓	
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？		✓		
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？			✓	
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？		✓		
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？		✓		

できている点	<ul style="list-style-type: none"> 日々の体調変化や「いつもと違う」際の記録。 ちょっくら「てごする」隊での、出来ることや役割実践。
--------	---

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> 「10」ある中で、ご本人が「6」できることを、職員が「4」支援すること。
---------	--

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）	<ul style="list-style-type: none"> 様々なリスクを優先し安全第一となり、ご本人のできることまで、つい支援してしまっていることがある。
-------------------------	--

スタッフ個別評価・様式

実施日 令和5年12月26日

4. 地域での暮らしの支援

氏名 福島 知義

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画
①新しい生活様式に沿って、可能な限り地域行事への参加を図る。(その都度本人、家族への意向を取りまとめる)。
②地域行事や活動内容の把握

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？			✓	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		✓		
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？			✓	
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		✓		
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？			✓	

できている点
・生活歴シートによる過去～現在の情報収集。

できていない点
・上記「できている点」を生かした地域との繋がりに向けての支援

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）
・今までも、事業所として（保育園以外の）地域に出向く実績が少ない。
・現状の職員数では、日々の業務に追われ、なかなか地域活動や地域交流に行くことが難しい（時間調整）。
・現状利用のご利用者が、プラザの近隣の地域に限らず、多方面の地域（陰田、淀江、古豊千など）に分散されているため、それぞれの地域との関係構築が希薄。

スタッフ個別評価・様式

実施日 令和5年12月26日

5. 多機能性ある柔軟な支援

氏名 福島 知義

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	<p>①地域の資源とは何かをスタッフ全員が理解できるようにする。</p> <p>②家族・本人と聞き取った内容を申し送り（ほのぼの・ノート）や経過記録（ケース）に残し、情報共有する</p>
---------	---

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？		✓		

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		✓		
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？		✓		
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？		✓		
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？		✓		

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・（ケアネと連携し）ご本人、ご家族の急な用事や体調変化（コロナ感染など）による、随時のサービス調整および、その記録。 ・配食サービスを中心とした地域資源との連携。
--------	--

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者によってサービス量が多い（と感じる）。
---------	--

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人のみの独居、家族が日中仕事で不在、家族が県外遠方にいる等の理由であれば、おのずとサービス量や頻度は増えてくる。そういった家庭事情の方が増えている現状にある。その他、家族以外の支援者や活用資源が少ない。
-------------------------	--

スタッフ個別評価・様式

実施日 令和5年12月26日

6. 連携・協働

氏名 福島 知義

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	①地域の会議や多職種連携会議など職員も参加できるよう調整する ②参加した会議内容を現場職員に報告する ③地域の活動情報を定期的に確認する
---------	--

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？			✓	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		✓		
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？			✓	
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？				✓
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？			✓	

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期の町内の回覧板にて、地域活動の情報収集。 ・ 隣の保育園との交流、共同イベントの計画実践。
--------	--

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記、回覧板からの得た情報を生かした地域活動の参加。
---------	--

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務調整まで至っていない。 ・ 事業所として、地域活動実績に乏しく、かつ参加のしくみや習慣化が確立できていない。
-------------------------	---

スタッフ個別評価・様式

実施日 令和5年12月26日

7. 運営

氏名 福島 知義

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画				
①小規模多機能として役割を学ぶ（研修の開催及び参加） ②推進会議やサロン活動にてプラザに気軽に来てもらえるよう説明および広報を行なう。				

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	✓			

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	✓			
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？		✓		
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		✓		
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？		✓		

できている点	<ul style="list-style-type: none"> 各居宅、包括事業所や施設、病院への広報や、民生委員の方へのサービス説明会など、地域の方に事業所を認知して頂くための取り組み。 			
--------	--	--	--	--

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> 地域の困りごとなどの課題の聴取および職場内共有。 保育園以外との地域資源との協働した取り組み実践。 			
---------	--	--	--	--

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）	<ul style="list-style-type: none"> 過去の実績が少ない。 				
---------------------------	--	--	--	--	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画

- ①研修の案内や情報は自分でも確認、自身でも研修については率先し調べて申し込みをする。
- ②ヒヤリハットについては常に意識を持ち、引き続き多く出し合い検討していく。

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	✓			

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	✓			
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	✓			
③	地域連絡会に参加していますか			✓	
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	✓			

できている点

- ・ 県小規模多機能協会主催の研修や、専門職研修、自己研鑽のための研修など内外問わず、研修の参加。
- ・ 各種参加した研修の職場内伝達、または資料の共有。

できていない点

- ・ 地域連絡会への参加

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）

- ・ 参加予定であったが、体調不良にて欠席。居宅連絡会はケアマネージャー任せとなっている。

スタッフ個別評価・様式

実施日 令和5年12月26日

9. 人権・プライバシー

氏名 福島 知義

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	<p>①利用者の排泄や入浴の介助はプライバシーへの配慮に心がけていく。 ②利用者の情報は、周りを意識して事務室や相談室で行い、プライバシーを守るようスタッフ一人ひとりが心がけるようにする。 ③成年後見人制度について職場内で研修会の計画、開催。</p>
---------	--

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？		✓		

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	身体拘束をしていない		✓		
②	虐待は行われていない		✓		
③	プライバシーが守られている		✓		
④	必要な方に成年後見制度を活用している			✓	
⑤	適正な個人情報の管理ができている		✓		

できている点	<ul style="list-style-type: none"> 排泄や入浴など一時的に裸の一部が露出される際のプライバシーの配慮（個室対応や各ご利用者の状態・状況に応じた付き添いの未実施）。
--------	---

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> 成年後見制度の活用者の支援
---------	---

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）	<ul style="list-style-type: none"> 現状、成年後見制度活用者は1名（保佐人）在籍も、個人として支援はしておらず、ケアマネージャーが主に支援を担っている。
---------------------------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画

- ①初期支援のための情報伝達、情報共有をケース記録や申し送りを活用しスタッフが情報収集を行いやすくする。
- ②スタッフ間で声を掛け合い利用者に声掛けや気遣いができるようにする。

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	前回の課題について取り組みましたか？		○		

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？			○	
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？		○		
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？		○		
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？		○		

できている点

- ②アセスメントを行い、必要としている支援ができている。1人では気付いていなかったことを他職員(他職種)から意見を聞くことができおり、支援内容の修正が適宜行えている。
- ③慣れてもらえるよう声掛けを行えている。
- ④家族、介護者の思いを傾聴するよう心掛けている。

できていない点

- ①事業所長、看護師、リーダーには事前に情報伝達し、支援の方向性を検討したり、退院・退所前カンファレンスでの確認事項を明確にしているが、利用開始前のミーティングができていない。全職員への事前情報提供が利用の直前になっている。

なぜ？ どうして？ できていないのか？ (その理由)

- ①新規のアセスメント情報をまとめることが業務として追いついていない。

スタッフ個別評価・様式

実施日 令和5年12月27日

2. 「～したい」の実現
(自己実現の尊重)

氏名 名和川由紀

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画
①事前に計画を立案し、月に1名以上の個別支援を行う。 ②自ら発信が困難な利用者は、家族と相談しながら本人に合った支援を行う。

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 前回の課題について取り組みましたか？			○	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		○		
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？			○	
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？			○	
④ 実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？		○		

できている点
①アセスメントや、本人・家族の意向をもとに、ゴールは把握している。 ④職員間での振り返りは日々できており、次の対応についても共有できている。

できていない点
②③本人の意向が自ら発信できない方の本人目線での目標把握が不十分。その為、日々の関わりも不十分。

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）
②③「本人にとってこうなるといいと思われる」という推察はできるが、本人の意向確認が不十分な為。アセスメント不足。

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	<p>①過去の生活や在宅での様子、本人や家族から聞き取った内容記録に残し共有する。 ②利用者の日常生活の中で、できる所と難しい所を見直しし、家族にも伝えることで、スタッフと家族の認識をすり合わせていく。</p>
---------	--

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	前回の課題について取り組みましたか？		○		

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		○		
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？		○		
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？			○	
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	○			
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	○			

できている点	<p>①生活歴、生活習慣シートを活用している。利用開始前、モニタリング時に本人や家族から適宜聞き取りをしている。 ②④⑤ADL 状況に合わせたケアが実施できており、体調や気持ちの変化に気付いた場合に他職員に発信し情報共有ができ、対策の検討ができています。</p>
--------	--

できていない点	<p>①生活歴、生活習慣の記入が不十分な利用者は、把握も不十分。 ③おそらくこうであろう、という推察は行えていると感じるが、明確に言語化は十分にできていない。</p>
---------	--

なぜ？ どうして？ できていないのか？ (その理由)	<p>③本人の視点で考えることが難しい。</p>
----------------------------	--------------------------

スタッフ個別評価・様式

実施日 令和5年12月27日

4. 地域での暮らしの支援

氏名 名和川由紀

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	
①新しい生活様式に沿って、可能な限り地域行事への参加を図る。(その都度本人、家族への意向を取りまとめる)。	
②地域行事や活動内容の把握	

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	前回の課題について取り組みましたか？				○

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？			○	
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？			○	
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		○		
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？			○	

できている点	
③モニタリングの時など、適宜家族に聞き取りをしている。	

できていない点	
①生活歴、生活習慣シートを活用しているが、記入が不十分だと把握も不十分。	
②特別に意識してできているとは言い難い。	
④必要な資源は把握できているが、全員の民生委員の把握はできていない。	

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）	
①アセスメントが不十分。	
②④元ある資源を活用することはできるが、新たな資源を導入していく流れがわからない。	

スタッフ個別評価・様式

実施日 令和5年12月27日

5. 多機能性ある柔軟な支援

氏名 名和川由紀

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画
①地域の資源とは何かをスタッフ全員が理解できるようにする。
②家族・本人と聞き取った内容を申し送り（ほのぼの・ノート）や経過記録（ケース）に残し、情報共有する

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	前回の課題について取り組みましたか？			○	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	○			
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？		○		
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	○			
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	○			

できている点
①③④事業所全体でアセスメントができており、必要に応じて他事業所の導入を行い連携が図れている。
（沢山の視点がある方が、本人や家族への配慮や支援ができ、メリットが多いと把握できている）日々の関わりから本人の状態やニーズを把握し、必要な支援を他職種で適宜検討し追加修正ができています。

できていない点
②ニーズに応じて通い、訪問、宿泊の調整をしているが、通い、宿泊については定員がある為、必要と判断していても調整がつかないことがある。

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）
②通い、宿泊については定員がある為、必要と判断していても調整がつかないことがある。

スタッフ個別評価・様式

実施日 令和5年12月27日

6. 連携・協働

氏名 名和川由紀

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	①地域の会議や多職種連携会議など職員も参加できるよう調整する ②参加した会議内容を現場職員に報告する ③地域の活動情報を定期的に確認する
---------	--

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？				○

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		○		
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	○			
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？				○
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		○		

できている点	①他事業所と連携を図り、必要に応じて会議を行えている。 ②居宅連絡会に定期的に参加している。 ④近隣保育園との交流を行事ごとに行っている。
--------	---

できていない点	③できていない。 ④地域の高齢者が訪れることはない。
---------	-------------------------------

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）	③活動やイベントを把握できていない。どのように参加していいのかわからない。 ④周知が不十分。
-------------------------	---

スタッフ個別評価・様式

実施日 令和5年12月27日

7. 運営

氏名 名和川由紀

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画
①小規模多機能として役割を学ぶ（研修の開催及び参加） ②推進会議やサロン活動にてプラザに気軽に来てもらえるよう説明および広報を行う。

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 前回の課題について取り組みましたか？			○	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか？	○			
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	○			
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		○		
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？			○	

できている点
①②事業所運営を行うにあたり、自分の意見を言えている。利用者、家族からの意見や苦情があった際に事業所長、職員に報告し、速やかに対策をとるようにしている。 ④近隣保育園との交流ができている。

できていない点
③地域の方からの意見や苦情がない。 ④保育園との交流以外の協働した取り組みが行えていない。

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）
④どのように協働していいかわからない。

スタッフ個別評価・様式

実施日 令和5年12月27日

8. 質を向上するための取組み

氏名 名和川由紀

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画
①研修の案内や情報は自分でも確認、自身でも研修については率先し調べて申し込みをする。
②ヒヤリハットについては常に意識を持ち、引き続き多く出し合い検討していく。

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	前回の課題について取り組みましたか？			○	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか		○		
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか			○	
③	地域連絡会に参加していますか	○			
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		○		

できている点
①③職場内の研修、居宅連絡会に参加できている。

できていない点
②ケアマネ協の研修、小規模多機能連絡会に参加できているが、資格取得の為の研修参加はできていない。

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）
②目指したい資格がない。今の仕事で精一杯で他に勉強できる余裕がない。

スタッフ個別評価・様式

実施日 令和5年12月27日

9. 人権・プライバシー

氏名 名和川由紀

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	<p>①利用者の排泄や入浴の介助はプライバシーへの配慮に心がけていく。 ②利用者の情報は、周りを意識して事務室や相談室で行い、プライバシーを守るようスタッフ一人ひとりが心がけるようにする。 ③成年後見人制度について職場内で研修会の計画、開催。</p>
---------	--

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？		○		

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	身体拘束をしていない	○			
②	虐待は行われていない	○			
③	プライバシーが守られている		○		
④	必要な方に成年後見制度を活用している	○			
⑤	適正な個人情報の管理ができている		○		

できている点	①②③④⑤基本的にはできている。
--------	------------------

できていない点	⑤カルテ、5年間保存カルテの管理方法が、不十分。
---------	--------------------------

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）	⑤鍵のかかるところにはあるが、部屋全体の鍵を閉めることがない。
---------------------------	---------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年1月4日(17:30~18:30)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 福島、名和川、青戸、佐藤、横田、仲田、山足、原、

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	9人	1人		12人

前回の改善計画
①初期支援のための情報伝達、情報共有をケース記録や申し送りを活用しスタッフが情報収集を行いやすくする。
②スタッフ間で声を掛け合い利用者に声掛けや気遣いができるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果
①サービス利用前事前に、ケアマネージャーより情報を発信し、現場職員が共有。サービス開始直後は、送迎やケア(入浴や排泄など)に関して、特に意識を高めて記録し、職員間共有できた。
②サービス開始時、まだ慣れず不安を抱えるご利用者に対して、逐一こまめな確認や親しみやすさを感じてもらえるよう配慮できた職員があったが、業務に追われ、意識的に行なえない場合もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		10人	2人		12人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		11人	1人		12人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2人	10人			12人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1人	8人	3人		12人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・初回利用時までの情報共有およびその習慣化。
・気づきの職員間での情報交換および共有。
・情報を参考にした声掛け、アプローチ。
・自宅または通所利用時のご本人の話しへの傾聴。
・送迎時訪問時の家族とのコミュニケーション。
・不安や主訴、本心を引き出す言葉掛け。
・特に利用開始1週間のこまめな状況状態記録。
・アセスメントにて必要な支援の提供。
・事前の医療的視点のアセスメントや併用サービスの提案及び調整(看護師)。 など

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・日々の業務に追われ、①利用開始前の十分なミーティング、②収集した情報を十分に生かすこと、③情報を十分に確認すること、④逐一記録に残すこと、ができていない。
・ケアマネージャー任せとなり、現場の介護士として(独居の方の家族やキーパーソンと会う機会がない人など)家族や介護者と関わることができていない。 など

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
①初回利用後の当日中に、直接ご家族へ利用時の状況や様子を伝える(会えない場合やご家族と同居でない場合は、電話をする)。その際に、ご家族の疑問や不安も収集し、ご家族に対しても不安等を軽減し、安心して頂けるよう努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年1月4日 (17:30~18:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 福島、名和川、青戸、佐藤、横田、仲田、山足、原、

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		3人	7人	2人	12人

前回の改善計画

- ①事前に計画を立案し、月に1名以上の個別支援を行う。
- ②自ら発信が困難な利用者は、家族と相談しながら本人に合った支援を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ①多職種協働での個別計画作成ができ、個別支援は行なえたが、ご利用者によって支援の量や質に差があり。
- ②家族とのやり取りはケアマネジャーに依頼することが多かったが、自ら発信が困難なご利用者に対して工夫した関わりが行なえた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		6人	3人	3人	12人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		5人	4人	3人	12人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		2人	7人	3人	12人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		5人	3人	4人	12人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・全職種揃ってのカンファレンス (評価・モニタリング等) の実践。カンファレンスにて計画書からゴールを理解し支援に繋げる努力。
- ・カンファレンスでの計画変更だけでなく日々の中でタイムリーな計画変更および実践。
- ・自分で意向を伝えることができない方の観察やサインを見落とさないようにする意識。受け持ち利用者のニーズをくみ取る努力。

など

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・業務に追われ、①全てのご利用者の計画や生活歴シートを十分に理解すること (情報量に波がある)、②「～したい」の継続的な支援、③初回計画の立案時の各専門職の十分な関与、ができていない。
- ・ケアマネジャー任せとなり、その他職員の家族含めたカンファレンス (モニタリング訪問同行) ができていない。
- ・ケアマネジャーとしてのアセスメント不足にて、自分で意向を伝えることができない方の本人目線の目標把握ができていない。

など

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ①初回の計画立案の為のカンファレンスの実践を強化する。
- ②全利用者の「～したい」を全職員共有できるよう工夫 (全ご利用者のケアプランのコピーファイルを作成) し逐一情報集できる環境を整え、「～したい」実現に向け、継続した支援が行なえる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年1月4日(17:30~18:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 福島、名和川、青戸、佐藤、横田、仲田、山足、原、

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		10人	2人		12人

前回の改善計画	①過去の生活や在宅での様子、本人や家族から聞き取った内容記録に残し共有する。 ②利用者の日常生活の中で、できる所と難しい所を見直しし、家族にも伝えることで、スタッフと家族の認識をすり合わせていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	①上記改善計画に加え、変化の経過や気づきも含め、情報共有できた。 ②できることの実践は比較的行なえたが、その見直しや家族との認識含む共有は不十分であった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		1人	9人	2人	12人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1人	10人	1人		12人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		4人	8人		12人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3人	9人			12人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3人	7人	2人		12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・ご利用者に関する気づきについての情報共有(情報発信・情報収集)。 ・ご本人の出来ることは(時間をかけてでも)やってもらうこと。ちょっと「てごする」隊での、できることや役割実践(一定のご利用者)。 ・できること、できないこと、できていたけどできなかった事など、変化が分かる記録を残すよう意識すること。 ・ご本人の自宅での生活リズムに合わせた支援。生活歴シートを使用したアセスメント。 など
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・プラザが介入していない時間がある為、在宅での様子の十分な情報(様子・状況・認識)の把握が出来ていない。 ・ご利用者一人ひとりに多くの情報収集が困難なため、以前の暮らし方の10個以上把握ができていない。 ・(チームでの見直しはできているが、家族とのすり合わせが連絡帳のみだったりすることもあり)本人の声にならない声を言語化し共有すること(家族や介護者含め)ができていない。 ・時間に追われて、ご本人の出来ることも支援することもある など
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ①全利用者の生活歴シートのコピーを一括でファイリングし、全職員が逐一情報(以前の暮らし方など)を収集する。 ②朝礼や終礼にて、本人の行動や様子をアセスメントした「思い(思われることも含む)」を共有する。 ③ちょっと「てごする」隊の活動の充実させ、今年以上ご利用者のできることや役割実践が行なえる。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年1月4日 (17:30~18:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 福島、名和川、青戸、佐藤、横田、仲田、山足、原、

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		1人	6人	5人	12人

前回の改善計画	
①新しい生活様式に沿って、可能な限り地域行事への参加を図る。(その都度本人、家族への意向を取りまとめる)。	
②地域行事や活動内容の把握	
前回の改善計画に対する取組み結果	
①隣のクローバー保育園との交流は定期的に行なえた。その他の地域活動の参加は、業務が優先となり参加意識が低く、日々の業務の中から行事参加の計画立案に至らず。行事参加に至るまでの流れやフローなどの仕組みも確立できていない。	
②事業所長が自治会の回覧板等から活動情報を収集していたが、全職員の共有までできていなかった。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		4人	5人	3人	12人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		4人	5人	3人	12人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		5人	4人	3人	12人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1人	7人	4人	12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 生活歴シートから過去～現在の情報収集。 ご家族より適宜聞き取り (ケアマネジャー・看護師)。 必要に応じて様子や変化をご家族へ直接伝え、各種相談や提案の実施 (看護師) 	など

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 広範囲の地域の方を受け入れている為、それぞれの地域資源を把握することは難しい。 生活歴シートの記入が不十分な場合 (家族間での情報共有不足含む) もあり、十分なアセスメントの実践 (その他、ご利用者により情報量に差がある) ができていない。 地域資源含む情報収集不足による、各地域の民生委員の把握ができていない。 現場職員は独居の方の家族や家族以外と関わる (外部の方々) 機会がないため、地域や暮らしについての十分な理解ができていない。 	など

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①全利用者の生活歴シートのコピーを一括でファイリングし、全職員が逐一情報を収集する。	
②各地域の民生委員を把握し、それぞれの地域資源の情報を得る。職員間で共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年1月4日 (17:30~18:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 福島、名和川、青戸、佐藤、横田、仲田、山足、原、

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		7人	5人		12人

前回の改善計画

①地域の資源とは何かをスタッフ全員が理解できるようにする。
 ②家族・本人と聞き取った内容を申し送り (ほのぼの・ノート) や経過記録 (ケース) に残し、情報共有する

前回の改善計画に対する取組み結果

①スタッフ全員が地域の資源を理解するには至らなかった。
 ②ご本人・ご家族に随時の意向確認を行ない、職員間で情報共有できた。プラザでの通い・訪問・泊りだけでなく併用サービスとの連携含め、不測の事態など随時の対応も行え、柔軟な支援提供が行なえた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2人	5人	3人	2人	12人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2人	9人	1人		12人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	2人	7人	3人		12人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3人	6人	3人		12人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・各ご利用者に対してプラザ (小規模サービス) として通い、訪問、泊りだけでなく、訪問看護、訪問診療など併用サービスとの利用の提案。それら併用するサービスとの連携。随時のアセスメントにより各種サービスの調整も行え、柔軟なサービス提供。日々の体調やリスクなど情報の発信および収集。
 ・配食弁当を中心とした地域資源を活用した支援。

など

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・業務に追われコミュニケーション不足となり、より細かな変化などの部分の発信、共有 (記録含む) ができていない。
 ・事業所長やケアマネに頼ってしまい、事業所全体としての地域資源の理解及び共有が出来ていない
 ・高稼働 (ご利用者数が安定して多い) により通いと泊りの定員が満員になることもあり、随時の追加や利用変更が行えないこともあった。

など

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

①プラザのある地域の資源を理解するため研修会を実施。地域資源を知り、小規模多機能事業所として、それらの活かし方などを学習する。
 ②全職種による本人の状態やニーズ、変化、気づきの記録の実施。情報収集。
 ③各種ミーティング時 (朝礼・終礼・職場会) に本人の状態やニーズ、変化、気づきを共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年1月4日 (17:30~18:30)

6. 連携・協働

メンバー 福島、名和川、青戸、佐藤、横田、仲田、山足、原、

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?			8人	4人	12人

前回の改善計画

- ①地域の会議や多職種連携会議など職員も参加できるよう調整する
- ②参加した会議内容を現場職員に報告する
- ③地域の活動情報を定期的に確認する

前回の改善計画に対する取組み結果

- ①事業所長やケアマネージャーのみの参加となり、現場職員の参加が出来なかった。
- ②会議で全ての伝達はできなかったが、資料があるものはファイルを作り全職員へ確認してもらった。
- ③事業所長が自治会の回覧板等から活動情報を収集していたが、全職員の共有までできていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?		3人		9人	12人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1人		1人	10人	12人
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?				12人	12人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	4人	3人	1人	4人	12人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・訪問看護や訪問リハビリ、薬局など外部事業所や、各居宅および包括支援センターと、必要に応じて会議の開催および参加 (ケアマネージャー中心)
- ・隣のクローバー保育園との共同イベントや交流の開催。

など

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・自治会の回覧板は回っているが全職員共有できていないことや、参加の仕組みや習慣化できていないため、地域の各種機関・団体の活動やイベントに参加できていない。現場業務に追われ、参加できたとしても事業所長やケアマネージャーのみであり、全職員での参加はできていない。

など

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ①担当者会議など各種会議に、受け持ち担当職員が参加する。参加できないときには、ケアマネージャーへ意見を伝えておく。
- ②各種会議の内容 (資料及び議事録) を全職員で共有する。
- ③自治会の回覧板などから、地域の活動やイベントを情報収集し、事業所として地域の行事やイベントに参加する (可能であれば現場職員の参加も考慮)。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年1月4日 (17:30~18:30)

7. 運営

メンバー 福島、名和川、青戸、佐藤、横田、仲田、山足、原、

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	2人	5人	3人	12人

前回の改善計画	①小規模多機能として役割を学ぶ (研修の開催及び参加) ②推進会議やサロン活動にてプラザに気軽に来てもらえるよう説明および広報を行なう。
前回の改善計画に対する取組み結果	①事業所長やケアマネージャーと偏った職員は研修参加できた。その他職員へは各研修の資料をファイルにし、情報共有や各種学習に努めた。 ②事業所長が定期的な広報を実施したが、地域の方に推進会議以外でプラザお越しいただくことが数回のみであった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	2人	2人	2人	6人	12人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2人	6人	1人	3人	12人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		6人	1人	5人	12人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?			6人	6人	12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・ご利用者や家族、地域からの苦情、改善点など事業所長へ報告。職員全体で情報共有や改善に努めた点。 ・隣のクローバー保育園との定期的な協働した取り組みの実践。 など
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・事業所運営に関して、運営推進会議や広報などの外部との連携が事業所長やケアマネージャーのみとなっている。こういった活動の現場職員への発信が少なく、全職員共有できていないことも多かった。 ・事業所として実績や実践する仕組みがなく、(隣のクローバー保育園以外との) 地域と協働した取り組みが行えていない。 など
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ①地域の活動やイベントの情報収集、参加に至る仕組み (流れやフロー) を作る。 ②事業所の職員及びご利用者と共に、(クローバー保育園だけでなく) 地域と協働した取り組みを行なう。 ③日々の記録に加え、苦情報告書を作成し、全職員で共有する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年1月4日(17:30~18:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 福島、名和川、青戸、佐藤、横田、仲田、山足、原、

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	5人		12人

前回の改善計画
①研修の案内や情報は自分でも確認、自身でも研修については率先し調べて申し込みをする。 ②ヒヤリハットについては常に意識を持ち、引き続き多く出し合い検討していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
①研修情報は随時掲示し、比較的多くの職員が研修情報を収集し、事業所及び法人内外の研修に参加した。 ②年度途中よりヒヤリハット啓発や意識向上を行え意識向上したが、年間を通しての継続性に欠いた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1人	8人	3人		12人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1人	5人	5人	1人	12人
③	地域連絡会に参加していますか	1人		1人	10人	12人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1人	7人	4人		12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・各職員の年間目標や興味のある事柄に対する、事業所および法人内外の研修に参加できた職員が多かった。参加できない職員に対しての伝達や資料確認も行えた。 ・自己学習にて資格取得できた(終末期ケア専門士)。事故や感染等のリスクについて事業所内研修でき、意識を高めることができた。 ・ヒヤリハットや事故報告書の仕組みが確立でき、職員間で情報共有が行えた。 など

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・業務の都合上、事業所長とケアマネージャー任せとなり、その他職員は地域連絡会(小規模多機能連絡会など)など外部の集まりに参加できなかった(地域連絡会がどういった会かわからない職員が多い)。 ・ヒヤリハット作成に対する意識が低く、(年度途中より啓発や意識向上を行えたが)年間を通して継続的な報告書の作成や検討会が行えなかった。 など

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	①地域連絡会(小規模多機能連絡会など)に現場の職員も可能な限り参加する。参加できなければ、会の内容を議事録や資料から収集する。 ②ヒヤリハット報告書を職員一人当たり1~2ヶ月に1枚以上提出する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年1月4日 (17:30~18:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 福島、名和川、青戸、佐藤、横田、仲田、山足、原、

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	2人		12人

前回の改善計画

- ①利用者の排泄や入浴の介助はプライバシーへの配慮に心がけていく。
- ②利用者の情報は、周りを意識して事務室や相談室で行い、プライバシーを守るようスタッフ一人ひとりが心がけるようにする。
- ③成年後見人制度について職場内で研修会の計画、開催。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ①排泄や入浴など、一部以上裸になる際は特にプライバシーに配慮した支援が行なえた。
- ②書面での情報収集はプライバシー保護を意識できたが、職員間での業務上のコミュニケーションにて個人情報飛び交っている事もあり、意識が低くなることもあった。
- ③個人で学習された職員もいたが、事業所として研修会の実践ができなかった (現状利用者1名)。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9人	3人			12人
②	虐待は行われていない	11人	1人			12人
③	プライバシーが守られている	3人	9人			12人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1人		2人	9人	12人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2人	10人			12人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・身体拘束意識を高く持ち、ベッド周りに柵を囲んだり、むやみにセンサーを使用するなどせず、事前に対策実践が行えた。
- ・単に個室対応するだけでなく、扉を完全に閉める、カーテンをすることも意識し、プライバシー保護に努めることができた。ケア時に一部以上裸になる際の排せつや入浴の際のプライバシー保護は行えている。
- ・カルテを広げたままにしなかったり個人情報の保護に努められた。 など

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・スピーチロックの意識が低く、「ちょっと待って」「動かないで」を使う頻度が多かった (フロアを一人で対応する時間もあり)。職員がスピーチロックした際に注意が行えていない。
- ・日々の職員間の業務上でのコミュニケーションより、個人情報が飛び交っている事もある。
- ・知識不足による、成年後見制度についての理解が乏しい (現利用者では制度活用は1名のみ)。提案や手続きはケアマネジャーのみが実践。 など

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・職員間の業務上でのコミュニケーション時、個人情報は職員間の距離を縮め (近くに寄って) 小声でやりとりする等工夫してプライバシー保護に努める。
- ・成年後見人制度について現状制度活用のご利用者について情報共有 (理由や具体的な活用方法等) する。

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

回答者数：8名

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	8		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	8		
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	7		1
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	8		

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

皆様：別紙「事業所自己評価・ミーティング様式」に情報がまとめてあり、取り組み状況を確認できた。

- ・（プラザ側から説明のあった）「9. 人権・プライバシー」の項目にて、シーンによっては「待つ」「動かないで」を言う（職員一人で大人数を見るときは言わざるを得ない）こともあると思う。（倫理的には良くないことではあるとは思いますが）仕方がない場合もあるのでは？と感じた。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取り組み結果に対する意見

- ・別紙「事業所自己評価・ミーティング様式」を確認し、職員の皆さんはよくやっておられるとの意見あり。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- ・特筆意見なし

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・特筆意見なし

【改善計画】

- ①：年間を通じプラザ職員全員にて、事業所自己評価9項目の改善計画実践。
- ②：12月に事業所自己評価を実践し、1月の地域運営推進会議にて自己評価の公表。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？	8		
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	6		2
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	7		1
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	8		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	6		2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

<No. 1 >

- ・敷地入り口の、プラザの看板が見づらい為、入りづらい（慣れていない方は特に）。
→プラザ：現在、上司へ報告済み。新たな看板も検討中。

<No. 2、3、4 >

- ・普段出入りをしていないので、No. 2～4は見える範囲が限られている。

【前回の改善計画】

- ・今後も清潔で居心地の良い空間作りを継続できるように努める。施設までの道がわかりやすいよう工夫してお伝えしていく。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・特筆意見なし

【今回の改善計画】

- ①：清潔で居心地の良い空間を継続できる。
- ②：施設の場所が認知しやすく、入りやすいよう敷地入り口を整備する（看板の拡大化など）。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6		2
1	職員はあいさつできていますか？	6		2
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	4		4
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	4	1	3
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	4	1	3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

<No. 1>

- ・職員全体に挨拶する機会が少ない。事業所長、ケアマネージャーとの関わりを評価した。

<No. 2>

- ・自治会の方に対して口コミも大切ではないか。
- 近藤豊会長へプラザ便りをお渡しし、福生東地区へ情報発信を継続中。
(プラザより) 依頼があり、回覧板にプラザのお便りを入れている。行ってみようかな？と思ってもらえればと思い、協力させてもらっている。

<No.4>

- ・現場の方も参加できる体制が確立されれば良いかと。サロンに参加して頂いたときは、皆さん喜んでいた。

【前回の改善計画】

- ・コロナ禍の為、地域活動に参加出来なかったが状況を見ながら参加していく。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・地域の公民館（車尾・福生東・福生西）との関わりをしてはどうか？
- ・福生6区はサロン活動に（プラザから）参加してもらったり、民生委員の見学もしてもらった。
→プラザ：特定の地区にとどまり、その他の地区へは出向くことはできなかった。

【改善計画】

- ①：自治会の回覧板等から、地域の活動やイベントを情報収集。事業所として地域の行事やイベント（各種祭りや清掃活動など）への参加。
- ②：定期的に地域の公民館と関わり、公民館活動への参加。
- ③：プラザ便りを地域の回覧板に挟んでもらい、地域の皆様に真誠会プラザを認知してもらえらる。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6		2
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	5		3
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	5		3
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	5	1	2
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	5		3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

<No. 2, 3, 4>

プラザ：（「C. 事業所と地域のかかわり」にて評価に挙がっているが）近隣地域の一部のみの行事やイベントに参加のみにとどまり、プラザ利用者の住む地域の関係者との関わり、関係者の集まる場への参加、近隣の心配な方との関わりまでに至っていない。

→市役所：（項目C・Dとも）地域とのかかわりは重要だが、自事業所の地域は勿論、事業所を利用される方の地域と関係性を構築していくことはなかなか難しい。できることから進めていき、少しずつ地域との関係を持てるよう努めてほしい。

【前回の改善計画】

・地域を意識した活動は、まだ手探り状態であるが、地域と関わりが持てるようにスタッフ全員が意識していくよう努力する。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

・特筆意見なし

【改善計画】

- ①：行政と連携し、各ご利用者の地域の民生委員を確認・把握（リスト化）。
- ②：①を基に、各利用者カルテ見開きの概要用紙に落とし込む。
- ③：②を活用し民生委員と連携を図る。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	8		
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	8		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	4	2	2
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	6		2
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	7		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

<No. 1>

- ・行事や交流などの動画や、プラザで作ったものの試食など工夫しており、取組みが分かりやすいよう説明されていた。

<No. 3>

プラザ：今後の課題。プラザの地域運営推進会議は、ほぼ事業所の報告となっており地域の困りごと（地域の心配の方の対応など）や、取組み等を紹介し、必要に応じて一緒に取り組んでいく必要がある。

【前回の改善計画】

- ・コロナ禍の為、1回の開催しか出来なかった。今後の状況を見ながら開催について検討し、また開催した際には地域の困りごとや、やってみたいこと等を聞き、事業所で協力できるようにしていく。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・特筆意見なし

【改善計画】※後日記入

- ①：地域運営推進会議にて、地域の心配・不安な高齢者を聴取・共有。
- ②：（①で挙げたことを）職場会にて共有及び支援や対策の検討。
- ③：①の提案者へ報告するとともに、次回推進会議にて発表。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5		3
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	1	5	2
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	1	2	5
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	1	6	1
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	4	1	3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- <No.0>プラザ：今年度は夜間想定で1度実施。2月～3月に日中想定の実施を計画中。
 <No.1>プラザ：計画を掲示や、推進会議にて報告していない。
 <No.2>プラザ：地域の防災訓練には参加できていない。開催日時の案内もできなかった。
 <No.3>プラザ：事業所の防災訓練の日時を公表していない。
 <No.4>・夜間は（夜勤者1名のため人手が少なく）不安がある。

【前回の改善計画】

- ・消防訓練2回実施。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・気象情報も常日頃から見ても、理解度を上げていく必要がある。降水量が多く日野川が氾濫すれば、どのような行動をとるのか？（より身近では、車尾のほうじん川が氾濫リスク高い）その他、浸水時や地震、津波なども含め、対策を考えておく必要がある。
- プラザ：介護保険の改定でBCPの立案が義務化。出来次第、地域運営推進会議にて公表する。
- ・公民館にて自治会会長や班長、民生委員、在宅福祉員等との避難訓練に参画していますが、いかがでしょうか？

【改善計画】※後日記入

- ①：推進会議出席者へ、事業所の防災計画、BCPの公表。
- ②：防災訓練の日時を公表（6月・3月）し、事前に推進会議出席者へ案内状の送付（出欠確認含む）。
- ③：（②の参加者も交え）年に2回、訓練の実施。
- ④：地域の防災訓練の日時を情報収集し、（可能な限り）事業所として参加。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 真誠会	代表者	理事長 前田 浩寿	法人・ 事業所 の特徴	医療法人・社会福祉法人真誠会は、保健・医療・福祉のサービスに対応したホスピタウン ネットワークと、多くの資格取得者で構成されております。 真誠会医療福祉連携センターを中心に、米子（河崎）、弓浜（大崎）、富益、和田それぞれ がネットワークで繋がり、サービスの提供を行っております。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 真誠会プラザ	管理者	福島 知義		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団 体	利用者	利用者家族	地域包括支援セン ター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	6人 (2名提出のみ)	0人	0人	1人	0人	2人	2人	12人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する 取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価 の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ全員が改善計画に取り組み しっかり評価できるよう行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 別紙「事業所自己評価・ミーティング様 式」参照 	<ul style="list-style-type: none"> ・別紙「事業所自己評価・ミーティング 様式」に情報がまとめてあり、事業所の 取り組み状況を確認できた。 ・別紙「事業所自己評価・ミーティング 様式」を確認し、職員の皆さんは、よく やっておられるとの意見あり。 	<ul style="list-style-type: none"> ①：年間を通じプラザ職員全員にて、事 業所自己評価9項目の改善計画実践。 ②：12月に事業所自己評価を実践し、 1月の地域運営推進会議にて自己評価 の公表。
B. 事業所の しつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も清潔で居心地の良い空間づく りを継続できるように努める。施設 までの道がわかりやすいよう工夫し てお伝えしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・清潔で居心地の良い空間づくりを継 続できた。 ・敷地入り口の看板について、現在法人 本部へ報告済み。新たな看板も検討中。 	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地入り口の、プラザの看板が見づ らい為、入りづらい（慣れていない方 は特に）。 	<ul style="list-style-type: none"> ①：清潔で居心地の良い空間を継続で きる。 ②：施設の場所が認知しやすく、入りや すいよう敷地入り口を整備する（看板 の拡大化など）。
C. 事業所と地域の かかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の為、地域活動に参加出来 なかったが状況を見ながら参加してい く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・福生6区のサロン活動、クローバー 保育園のクリスマス会に参加したが、 特定の地域や事業所に限られた。 ※福生東自治会長へプラザ便りをお渡 しし、当該地区へ情報発信を継続中。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン（福生6区）に参加して頂い たときは、皆さん喜んでいました。民生委 員のプラザ見学会にも繋がった。 ・自治会の方に対してロコミも大切で はないか。※ ・今後は、地域の公民館（車尾・福生 東・福生西）との関わりをしてはど うか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ①：自治会の回覧板等から、地域の活動 やイベントを情報収集。事業所として 地域の行事やイベント（各種祭りや清 掃活動など）への参加。 ②：定期的に地域の公民館と関わり、公 民館活動への参加。 ③：プラザ便りを地域の回覧板に挟ん でもらい、地域の皆様に真誠会プラザ を認知してもらえる。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を意識した活動は、まだ手探り状態であるが、地域と関わりが持てるようにスタッフ全員が意識していくよう努力する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所として近隣地域の一部のみの行事やイベントに参加のみにとどまり、プラザ利用者の住む地域の関係者との関わり、関係者の集まる場への参加、近隣の心配な方との関わりまでに至っていない。 	<p>市役所：(項目C・Dとも) 地域とのかかわりは重要だが、自事業所の地域は勿論、事業所を利用される方の地域と関係性を構築していくことはなかなか難しい。できることから進めていき、少しずつ地域との関係を持てるよう努めてほしい。</p>	<p>①：行政と連携し、各ご利用者の地域の民生委員を確認・把握（リスト化）。</p> <p>②：①を基に、各利用者カルテ見開きの概要用紙に落とし込む。</p> <p>③：②を活用し民生委員と連携を図る。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の為、1回の開催しか出来なかった。今後の状況を見ながら開催について検討し、また開催した際には地域の困りごとや、やってみたいこと等を聞き、事業所で協力できるようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議は2ヶ月毎に年間を通じて開催することができた。 ・プラザの地域運営推進会議は、ほぼ事業所の報告となっており地域の取り組みについての把握や、困りごと（地域の心配の方の対応など）についての事例検討が行えていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事や交流などの動画や、プラザで作ったものの試食など工夫しており、取り組みが分かりやすいよう説明されていた。 	<p>①：地域運営推進会議にて、地域の心配・不安な高齢者を聴取・共有。</p> <p>②：(①で挙げたことを) 職場会にて共有及び支援や対策の検討。</p> <p>③：①の提案者へ報告するとともに、次回推進会議にて発表。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消防訓練2回実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は夜間想定で1度実施。2月～3月に日中想定の実施を計画（3/19に実施）。 ・その他、防災計画を掲示や、推進会議にて報告が出来ていなかった。開催日時の案内もできなかった。 ・地域の防災訓練には参加できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間は、夜勤者1名のため人手が少なく不安がある。 ・気象情報も常日頃から見、理解度を上げていく必要がある。降水量が多く日野川が氾濫すれば、どのような行動をとるのか？（より身近では、車尾のほうじん川が氾濫リスク高い）その他、浸水時や地震、津波なども含め、対策を考えておく必要がある。 ・公民館にて自治会会長や班長、民生委員、在宅福祉員等との避難訓練に参画していますが、いかがでしょうか？ 	<p>①：推進会議出席者へ、事業所の防災計画、BCPの公表。</p> <p>②：防災訓練の日時を公表（6月・3月）し、事前に推進会議出席者へ案内状の送付（出欠確認含む）。</p> <p>③：(②の参加者も交え) 年に2回、訓練の実施。</p> <p>④：地域の防災訓練の日時を情報収集し、(可能な限り) 事業所として参加。</p>